

基本計画(案)修正の方向性(たたき台)に係る意見等一覧(10/3(月)提出〆切)

No.	意見内容	修正素案 該当ページ	対応状況
1	・P11 及び P17 に出てくる「駅前にふさわしい土地活用の促進」の「促進」を削って下さい。 駅前をどうするか、公民館跡地をどうするかは「時間軸のもとに」「長期的な視点」「段階的」に考えた行く必要があると述べているのだから、ここだけ「促進」は異様です。 P11【～土地活用。】P17【～土地活用を図ります】でイと思います。	P39	・4-1土地活用の取組の方向性(2)の中で「駅前にふさわしい土地利用を図ります。」と記載することで整理しました。
2	旧計画に比べて、「理念(コンセプト)」によく取り組んでいる、と思いました。 旧計画が理念をすっ飛ばして、「複合施設を公園内に建てたら、他所から人がとんとん来て、金を落すぞ！」みたいな発想だったことに比べると、一般市民、近隣住民の側に、行政が立ち位置を変えてくれたことが分かります。ありがとうございました。 でも、だから、この理念を保持しつつ、建築を具体化していく行程はまだまだ先がありますね。 その間に(大きく言えば)日本国がどうなるのか、円安は？ 少子化は？ と悲観的な不確定要素が多くて、担当者は大変だと思えます。 これから、「庁内調整」だそうです。新しい基本計画(案)は、「理念の明記を中心にした案」という形で、出来きますか 行財政改革プランは、「市民検討会の検討結果を踏まえる」と言ったのだから、検討会でまとまってきた「理念(コンセプト)」は、尊重して、それと矛盾するような加筆、修正はしていただきたくない、と思ってます。	全体	・「第2章目指すべき将来のまちの姿」にて、将来像(テーマ)・コンセプトを掲げ、これを踏まえて「第3章基本方針」及び各計画として「第4章土地活用の計画」、「第5章鹿沼公園及び図書館敷地再整備の計画」、「第6章複合施設等の整備計画」を記載する構成としました。
3	● 施設配置案を、オープンハウスで多かった2案(池北側案と北西案)に絞る ● 当初は「正面案にも14%も賛同があるんだな」と、もった少ないと思っていた私には驚きでしたが、オープンハウスの年代別回答を見ても、若い世代ほど正面案の賛成が少ないことに気づきました。 推測ですが、交通公園が削られることは、高齢者は使用しない設備なので抵抗は少ないのかもしれないですが、利用者世代、特に今回の検討会の「次世代に引き継ぐ」という事を考えると、やはり正面案は採用しない方がいいと思います。景観的にもイマイチですし... 3案とも基本計画案に載せると、様々な想定が出来過ぎてしまい実際の計画策定にさらに時間も検討もかかってしまうので、2案に絞る方向でご検討いただきたいです！ 本当は検討会の場で検討して決めたいところですが、いきなり次回で2案に決定まで持っていけるかどうか、ですよ。ね。 あらかじめ資料送付いただいて、当日ほかの委員さん達のご意見や雰囲気にもよりますが、...		・市民検討会のまとめとして、オープンハウスで提示したものが3案であり、正面案を支持する方も一定割合でいたことから、3案を記載することとしました。
4	災害対策、ユニバーサル対応について、更新される公共施設としては当たり前のことかもしれないことでも一般の市民には当たり前かどうか分からない、あくまでも今までの施設との比較で考えるとと思います。 なので、分かりやすいように書いてあれば、安心して公園や施設の変更の計画が受け入れやすい気がします。 前回意見が出た「ピクトグラムを活用」することで多くの国の人にもわかりやすくする、ということも一言あるだけでも「どういう配慮をしているんだな」ということがわかりやすくなると思います。	①P38 ②P55	①3-3公共施設再整備の基本方針(7)の中に、ユニバーサルデザインの考え方に基づく空間となるよう配慮、自然災害に強い公共施設となるよう検討することを明記しました。 ②6-1複合施設等の全体方針((1)-E-③)の中に、館内サインにピクトグラムを検討する旨を明記しました。
5	国際交流ラウンジからの委員がまちづくり会議で意見を出していましたが、計画案などを外国人市民にも読めるようにすることはこれからは、当たり前なのかなと思います。 国際交流ラウンジが対象施設である計画ならなおさらで、私自身気がついていなかったことにハッとしました。	全体	・読みにくい漢字にルビをふることを考えておりますが、基本計画は図・表等を使って見やすくすることを考えており、基本計画の全ての漢字にルビをふることは困難だと考えております。なお、概要版にはルビをふることも検討し、基本計画の内容をわかりやすく伝える工夫を考えております。
6	前回の検討会でも発言したのですが、これまでに検討会で委員から出たアイデアやこんなことを大事にしたいと思って考えてきたということが、まとまって見えたらいと思います。 これまでの取組状況に、オープンハウスのパネルの図が出ていて、それが集大成ということなのだと思いますが、それぞれのWGから出ていた、公園、複合施設、駅周辺の様子などがどんなものか見えてほしいです。オープンハウスのパネルでわかることは「配置」なので。	資料編(P71～)	・これまでの市民検討会での検討内容(具体的なアイデア等)をWGごとに一覧でまとめ、資料編に明記しました。
7	同様に、この資料の中にこれまでのまちづくり会議の取り組み、まちづくり懇談会でのテーマも載せられるべきだと思います。(たたき台では、市民検討会立ち上げ後のまちづくり会議の姿が見えないので)	P17～	・1-3これまでの取組状況((1)、(3))の中に、大野北地区まちづくり懇談会におけるこれまでの懇談テーマを明記しました。(H23、H24は該当テーマ無しのため、H25以降を記載)

基本計画(案)修正の方向性(たたき台)に係る意見等一覧(10/3(月)提出〆切)

参考資料

No.	意見内容	修正素案 該当ページ	対応状況
8	検討会でも意見を言いましたが、p17にある跡地での「地域の課題解決等」の箇所、「地域の課題」が限定的なのが気になります。「財源確保」だけではなく「地域の交流」や「防災」「地域での活用によるまちづくりの活性化」「南口、北口の連携」など地域課題は多様です。そういう事も話してきたつもりです。もう少し、 <b>跡地活用に「売る、貸すなどで財源確保」以外の視点を入れてほしい</b> です。(計画案としてそのようなものを入れるつもりがないなら、せめてこれまでの取組状況の中に。)	①P27 ②P39 ③P39 ④P26～ ⑤P63 ⑥資料編(P71～)	①3-1まちづくりの基本方針((1)-イ-(イ))の中に、「様々な行政課題や地域課題に対応できる可能性を有する」ことを明記しました。 ②4-1土地活用の計画(2)の中に、「オープンハウスの結果等を参考にした記述として、「地域の関心が高い用地として、様々なニーズに寄与していくことが期待される」ことを明記しました。 ③4-1土地活用の計画(2)の中に、「地域の実情や様々なニーズに対応するための土地活用の検討」などについて明記しました。 ④3-1まちづくりの基本方針の中に、「駅北口周辺地域も含めた淵野辺駅周辺地域に多くの人が集まり、住みたくなくなるまちへと発展させるためのまちづくりに取り組む」ことや「駅北口周辺地域とも連携しつつ、民間活力の活用などにより、駅前にあふさわしい地域特性に応じた適切な土地利用が図られることで、まちのにぎわいの創出など、地域の活性化に向けたまちづくりに取り組む」ことを記載することで、「南口、北口の連携」について表現しました。 ⑤8-1今後のスケジュールの中に、「地域との協働などソフト面の取組が重要であり、市民検討会の検討結果等を参考にしながら、対話によるまちづくりを進める」ことを明記しました。 ⑥資料編にこれまでのまちづくりWGの検討結果をまとめました。
9	青少年学習センター移転により、 <b>矢部の小学生以下の遊び場がなくなることへの心配</b> があります。 <b>そのような意見があったこと、今後配慮がされるよう担当部署へ意見を伝えていること、が、どこかに書いてあると、分かりやすいし安心だ</b> と思います。	資料編(P77～)	・資料編の中の、「 <b>公共施設ワーキンググループ検討内容(具体的なアイデアのまとめ)</b> 」に、そういった意見もいただいたことを明記しました。
10	どうしてもパッと見て、「前回のパブコメで多かった意見にも関わらず、公園内に複合施設を建てる計画」に見えてしまうことが気になります。これまでの取組状況の「パブリックコメントを受け」とありますが、 <b>パブリックコメントで多かった代表的な意見</b> だけでもここに出ると、市民検討会が立ち上がるまでの流れがわかり、よいと思います。	P18	・1-3これまでの取組状況(1)の中に、パブリックコメントで寄せられた主な意見を明記しました。
11	各施設が一つになるということは、 <b>これまでは別々に行っていたイベントが一つの建物で行われる</b> ということですが、これまでと同じような頻度でできるのか、 <b>イベントが増えることで施設が使えない期間が増えて活動ができない期間が長くなるようなことがないか心配</b> という意見を聞きました。そこをどう対応しようとしているのかも、示してほしいです。		・諸室利用のルールについては、今後、管理運営方針等(P53記載)を策定する中で検討します。 ・全館イベントの実施方法についても同様に検討します。
12	施設の中身や公園の細かいところについては、この計画が策定後にまた地域住民の意見を聞く機会を設けること、まちづくりについては時間差で行われることとなりますが、 <b>パブコメや検討会で出てきた課題にソフト的に対応できることは先に対応してより使いやすい、過ごしやすいまちづくりを進めていく</b> ということも書いてあるよと思います。	①P32～ ②P63	①3-1まちづくりの基本方針((3)-ア)の中で、「まちづくりの進め方」(第1ステップ～第2ステップ)を整理し、その上で4-1土地活用の計画(2)の中で、時間軸を踏まえた検討について明記しました。なお、4-2跡地活用等の検討の進め方の中で、地域や民間事業者の意見把握に努めていくことを明記しました。 ②8-1今後のスケジュールの中に、「地域との協働などソフト面の取組が重要であり、市民検討会の検討結果等を参考にしながら、対話によるまちづくりを進める」ことを明記しました。
13	基本的に個人的に基本計画案に盛り込んで頂きたいと考えていた内容については <b>最低限入れて頂けたと思っています</b> 。一方で、同じ文言でありながら <b>理解の方向性が多少違うのかなと思える部分も未だ残っている</b> 状況で、それらについては、個人的にはあいまいなまま今後引き継いで煮詰めていかれるように思っています。		・計画策定後も、事業者だけでなく市民の方と対話を重ねながら事業を推進していく必要があると考えており、進め方については今後検討してまいりたいと思います。
14	文章としてややおかしいように思います。また、 <b>単なる民間への売却等ではなく、市民全体の財産でもあるわけですから、「市民全体もしくは地域住民の市民生活の向上・活性化に資する事(もしくはその為の財源確保)を条件として地域や民間に貸付、売却を行う…」と条件づけをした方がいい</b> と考えます。	①P30 ②P69	①3-1まちづくりの基本方針((2)-ウ-(イ))の中で、「Livable(リバブル)」なまちづくりの取組の方向性として、「将来に過度な負担を残さないための財政負担の軽減の取組」として明記し、将来世代のために財源確保の検討を進める重要性を整理しました。 ②8-3今後整理・検討すべき事項の中に、「未利用市有地の活用方針等」において、「市民共有の財産であるという基本的な考えの下、全市民的な観点に基づき最適な活用方法を選択していくことが重要」であることを明記しました。
15	<b>まちの現状と課題の文章全体として、やや商業的ニーズの向上に力点が偏っている</b> と感じます。「効果的な土地活用によって商業的ニーズの他、地域全体の回遊性の向上、複合施設及び鹿沼公園等の更なる利用を促し、総体的に淵野辺駅前地域の活性化につなげる。」のような形で、2-4項目についてはまとめてもいいのではと思いました。	P11	・1-2淵野辺駅南口周辺地域の現状と課題(1)の中で、新たに「 <b>エ まち(地域全体)の課題</b> 」として見出しを設け、最初に「駅前にあふさわしい土地利用を図る必要がある」ことを加え、以下、ご指摘の構成内容としました。
16	また、第一章の中で、今回再整備対象施設となっている施設群が、 <b>複合施設化する事のねらいのような項目があってもいい</b> と思いました。要するにWGで話してきた内容になるかと思いますが、公園と複合施設の一体的整備でより密接な使用の在り方を目指し、図書館や公民館等の施設が複合化することで、相互の施設利用者への他施設への関心の高まりや交流のきっかけとなる事を期待出来る等分散配置と比較して大きな相乗効果が期待でき、包括的に地域としての活性化に繋がる事が期待できる等。	P37～38	・3-3公共施設再整備の基本方針の中に、複合化により想定されるメリットを記載しました。
17	「緩やかなつながり」という文言が出てきますが、図書館敷地は、駐車場としてのみ使用するという事であれば、また、 <b>駅前と鹿沼公園とのつながりについてはこの計画案では十分に示されているとは私には思えません</b> 。そのあたりもう少し明確に示す内容があってもいいように思いました。	P29	・3-1まちづくりの基本方針((2)-イ-(イ))の中の「Walkable(ウォークブル)」なまちづくりの取組の方向性の中に、「 <b>良好な景観形成による魅力的な空間づくり</b> 」として、図書館敷地の一部も含めた景観形成に取り組むことや、鹿沼公園までの魅力的な通りの形成、そして新たな複合施設自体が通りの景観のシンボリック役割を果たすなど、ゆるやかでまとまりのあるまち並み景観をつくることを明記しました。

基本計画(案)修正の方向性(たたき台)に係る意見等一覧(10/3(月)提出▽切)

参考資料

No.	意見内容	修正素案 該当ページ	対応状況
18	オープンハウスの際は、回答して下さる方の事を考えて、必要最小限の内容の方がいいと大谷先生から話があったが、計画案の資料では、ダイジェスト化する必要はないと思いますし、スペース的にも余っているわけですから、 <b>もう少し公共施設WGでの検討内容を掲載してもいいのでは</b> と思いました。	資料編(P71～)	・これまでの市民検討会での検討内容(具体的なアイデア等)をWGごとに見てまとめ、資料編に明記しました。
19	ここについても2-1でも大きな財政的負担が生じると記載がありますし、コスト的、工期的等予算面でのマイナスから複合化が選択されたというような事が <b>殊更強調され過ぎている</b> と個人的には感じます。上でも書きましたが、 <b>公園と複合施設の一体的整備や配置についてこれまでWG等で出てきた、もう少しポジティブな観点を交えた説明が必要</b> だと個人的には考えます。	P30	・3-1まちづくりの基本方針((2)-ウ-(イ))の「Livable(リバブル)」なまちづくりの取組の方向性の中に、公園のリニューアルや複合施設の設置には大きな財政負担が生じる中で、将来世代のために財政負担の軽減に取り組むことは、持続可能で住み続けられるまちづくり(SDGs11「住み続けられるまちづくりを」)に寄与していくものであることを明記しました。
20	6段階:個人的な意見ですが、鹿沼公園の樹木は、老木化は確かでしょうが、やはり現状においても図書館を利用して外に出て公園の樹木に目を向けた時にホッとできるような景観が広がっていると思います。「再生の森」という表現ですと、現状が惨憺たる印象を受けますが、そういう事ではなく、あくまで <b>四季の緑豊かな景観等を損なう事がないように将来に向けて、「持続可能な樹林として大事に管理していく…」</b> というような内容でいいのではと思いました。	P35	・3-2鹿沼公園リニューアルの基本方針((2)-エ-(ア))の中に、「適切な間伐や伐採の実施により、生育環境を整えるとともに、新たに樹木を植えて樹林全体の更新を図っていくことを検討します。」と明記しました。
21	オープンハウスでも3件ほど、 <b>現図書館の駐車場敷地の活用を挙げておられる意見があります。経済的要因は用地選定の大事な部分だというのは理解しますが、それだけでいいのか</b> というのが私の意見です。私達の世代やそれ以前の世代が何を考えてきたのか、それが次世代の市民にも形でこの場所を通してわかる事も非常に重要な事だと考えます。一切過去からの継続性のないまちづくりには私は賛成出来かねます。何のために公民館を中心にこの地域の文化や歴史を題材にした行事を行っているのかという事にもなると思います。鹿沼公園については継続性も大事だという記載があります。	P35	・3-2鹿沼公園リニューアルの基本方針((2)-ウ-(イ))の中に、「時代や社会情勢の変化に対応したリニューアルを行うことは当然なことですが、懐かしさや思い出を感じられることで、シビックプライドを感じられるような空間づくりの検討を行います。」と明記しました。
22	公共施設再整備のコンセプトとして、p.20(A)で中央図書館機能の確立・充実という事が謳われている事や、(イ)地域の情報拠点としてのサービスの充実、(エ)その他充実を目指す機能で、知的好奇心の喚起(気づき)を誘発できる、総合的な生涯学習活動の拠点となるよう整備をすすめます。とある事を受けて、「 <b>誰もが求める学びにアプローチ出来る事を目標とする。</b> 」というような、言わば現状において、経済的な問題から或いはコロナウィルス蔓延等疾病によって「リモート学習を強いられているとか、望む学びが十分得られていない学生等であっても、図書館や公民館等複合施設に来れば、備わった設備・資料等の活用によってそれを少なからず補い得る <b>充実した学びの機会を得ることが出来る事を目標</b> するよう示す文言を入れてはどうかと思いました。	P38	・3-3公共施設再整備の基本方針(3)の中に、社会教育施設として目指す方向性を明記しました。
23	複合施設の全体の想定規模の記載がありますが、p16では、延床面積:7500m2,図書館:4000m2 となっており、p19では、延床面積は同様ですが、 <b>建築面積:2480m2</b> となっており、 <b>恐らくは3階建の建造物を想定している事だと思いましたが、正直私のような素人にはパッと見わかりづらいという誤解を招く可能性がある</b> と思いました。 <b>多少の補足があった方がいいか</b> と思いました。		・該当部分を削除しました。
24	この点については検討会でも申し上げましたが、前々回の検討会だったと思いますが公園WGの議論を聞かせて頂いた際には、一切出てきていない話であり、また、数が足りなければ、複数設置も検討するとの話が、公園課職員から出ました。その理由として、市の方針で新たな建造物の設置が出来ないからというような旨の話がありました。しかし、新たな建造物を作る事が出来ないとは言っても、駐車場という施設は、施設があれば基本的には備わっているべき基本的な施設であると思います。また、確かに駅前だから公共交通をなるべく利用すべきという事も聞かれます。ですが、交通の便が十分整備されているのであればいいですが、私も小田急線沿線に住む住民ですが、小田急沿線に住む住民ですと町田乗換でJRという事になり、それであれば、町田市の図書館の方が遥かに便利だという話になります。神奈中バスにしても淵野辺まで直行のバス路線はありません。もちろん相模大野にも図書館がありますが、伊勢丹閉館後非常に不便を強いられているという事情もあります。ですので、どうしても自家用車で淵野辺へという機会が多いという事はまずご理解頂きたいと思います。そして、市の方針で新たな建造物の設置が出来ないからという事で駐車場から何から一切切を同列で考えるのは私は少し違うと考えます。また、複数駐車場を設置するのであれば、当然交通動線がまたそれだけ複雑化する事になると思います。その事を踏まえての議論も公園WGでも十分議論できていないと伺っています。そこについてはまだ議論が必要だと考えます。更に、平置き駐車場の場合、当然の事ながら、複数駐車場を設けるのであれば、排ガス等環境に与える負荷が増える事になりますし、また盗難等防犯の面でも当然ながら屋内型よりリスクが高くなると考えられるわけです。何より、再整備によって利用者の増加を想定していると言っている一方で、その受け入れ態勢があいまいというのでは、計画案として全体として見た時に疑問を持つ市民もいらっしゃると思います。 <b>結論として、平置きが基本という書き方でも構いませんが、合わせて今後継続的に検討していく事項であり、検討途中であるが十分な受入体制は整える</b> というような事を書き加えて頂ければと思います。	P68	・8-3今後整理・検討すべき事項の中に、利用者の増加を勘案し駐車場の規模を検討する旨を明記しました。

基本計画(案)修正の方向性(たたき台)に係る意見等一覧(10/3(月)提出〆切)

No.	意見内容	修正素案 該当ページ	対応状況
25	複合施設の全体的なコンセプトについては、私自身も考えていた部分が多分に盛り込まれており非常に良かったと思っております。感謝致します。惜しむらくは、先に少し書いたように奨学生等経済的に課題があるような或いは疾病等によって <b>満足な学習の機会が得られていない</b> と思っ <b>ているような学生であっても十分な学習</b> 或いは <b>教養を高め、その先の生活に結び付けていける</b> ような、その為 <b>に何が</b> 必要か、 <b>そうした事を目標の1つとして複合施設を整備していくべき</b> ではという視点での検討と言うのがあまり出来ていなかったと思っています。今後残り少ないですが、そうした視点での検討が出来ればいいかと思っています。	P38	・3-3公共施設再整備の基本方針(3)の中に、社会教育施設として目指す方向性を明記しました。
26	(防災面について) 市民検討会でも意見したように <b>「安全・安心」な公園及び施設が大切である</b> と考えます。特に今回は複合型の施設で多くの方の利用が見込まれる中で、防災・減災の観点からも耐震性能・防火等消防設備の充実を図るとともにフロアごとの違いもあるので避難経路の表示の仕方や誘導方法など大規模な災害や火災が起きても利用者が安心して避難できる構造にしなければならないと考えます。「複数階に利用者がいる事」は、今は違う部分であります。	①P25 ②P38	①まちづくりにおける「防災・減災」については、2-2コンセプトのコンセプトの視点3「Livable(リバブル)」の中で、「暮らしの安全・安心」という表現で包含するよう整理しました。 ②3-3公共施設再整備の基本方針(7)の中に、自然災害に強い公共施設となるよう検討することを明記しました。
27	(駐車場について) 駐車場については図書館跡地を平面駐車場にというお考えがあるという事ですが、 <b>まずは周辺の安全面に配慮いただいたうえで出入口を設定していただきたい</b> と思います。 特に、現在のことも園側に出口があるのは良いことではありません。ガードレールがあるので突っ込んで来ませんが、ガードレールの切れ目は車がすれ違ふとき車が歩道まで大きくはみ出してきますので、危険なことがあります。人と車が安全に通行できる整備をお願いしたいと思います。 また、駅方面から来た時の視界の広がり(公園を眺める)は、今回のまちづくりのウォークアブルな視点から外せないと思いますので、駐車場を少し引っ込めるなど視界と足元の広がりが感じられるよう工夫をしていただきたいと思っています。	P47	5-3複合施設配置可能エリアと図書館敷地を含めたゾーニングイメージ((2)-オ)の中に、道路付けや、安全に配慮した出入口の位置等の外部要因の考慮が重要である旨を明記しました。
28	(当初計画案と現在のパターンとの違い) いちばん初めの当初計画案では、パブコメでの意見や要望書が提出されるなど多くの課題があった。市民検討会を経て基本計画案を策定するうえで、 <b>当初計画案と現行案の違い・比較などを説明できることも必要</b> ではないかと考えます。 ※地域の方の中には、公園内に複合施設を建設するのは当初計画案と何も変わっていないと感じる方もいると聞いています。	①その他 ②P34	①計画を説明する資料として、計画の新旧を比較するような資料を調製いたします。 ②基本計画案の中で新旧を比較するような資料の掲載はいたしません、3-1まちづくりの基本方針(3)-イの中で、新たに「まちづくりの取組の全体像(イメージ図)」を整理しました。
29	(検討いただきたいこと) <b>基本計画が策定された後</b> に、いよいよ実現に向けて動き出すと思います。私達、市民検討委員の役目も一旦終わることになりますが、今まで話し合われてきたことが違う方向に行かぬように市民検討会を代表する数名の方(どう選出するかは要検討)には何らかのかたちで見守っていただき、 <b>完成するまでは資料等を提供していただくなど必要に応じて意見を述べることもできるようにしてほしい</b> と思っています。私的には完成したときに話し合ってきたことが達成できたのかを確認するまでが市民検討委員の使命であると感じています。 また、まちづくりWGはまだ終わりではなく施設ができた後まで必要な位置づけと考えていますので、地区のまちづくり会議に内容を引き継ぐなり、まちづくりWGの方を新たに地区のまちづくり会議のメンバーに入れていただくなど、この <b>市民検討会で進めてきたことが将来的に地域に反映されるようにすることが重要</b> であると思います。		今後の進め方については、基本計画策定後も事業者だけでなく市民の方と対話を重ねながら事業を推進していく必要があると考えております。但し、どのような形で行うかは現時点では決まっておらず、対応が可能な形について今後検討していきたいと思っています。